

報告第 9 号

株式会社野田自然共生ファームの経営状況の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、
株式会社野田自然共生ファームの平成29年度の決算に関する書類及び平成3
0年度の事業の計画に関する書類を別添のとおり報告する。

平成30年6月12日提出

野田市長 鈴木 有

平成 2 9 年度 (第13期) 事業報告

平成 2 9 年度 (第13期) 決算報告

平成 3 0 年度 (第14期) 事業計画

平成 3 0 年度 (第14期) 予 算

株式会社野田自然共生ファーム

第13期 事業報告

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

江川地区においては、自然と共生する環境保全型農業を推進するため、引き続き薬剤を減らした環境に優しい水稻の生産を行うとともに、水田型市民農園の運営及び自然環境維持管理業務、コウノトリ飼育事業に取り組んでまいりました。

船形地区においては、生産調整事業である麦、大豆の生産及び販売、さらに野田市堆肥センター運營業務委託、新規就農支援事業、小船橋水辺公園管理業務委託、東葛飾地域農林業センター運營業務委託等を行ってまいりました。

また、農業経営については、効率的経営や品質向上に努めてまいりました。

しかし、今年度も大雨の影響で、船形地区の大豆や江川地区の水稻に大きな被害が発生し、収穫減となりました。

1 江川地区の農業事業

(1) 水稻の生産

江川地区の水田については、田んぼの均平化整備、除草作業等の管理を行うなど、自然と共生する環境保全型農業を推進しました。

しかし、今年度も圃場の状況が悪く、一部で収穫を断念した状況でしたが、それでも、前年度比では約2倍の収穫量を得ることができました。

今年度の総収穫量は次のとおりです。

品 種 名	収 穫 量	JA 出荷米	市民農園配布	一般販売	その他
コシヒカリ	10,347kg	1等 2,356kg 2等 3,152kg	1,561kg	550kg	2,728kg

(2) 市民農園

市民農園はファミリー型、オーナー型の2種類を企画し田植え、草取り、稲刈りまでの技術指導や自然体験イベント、ホタル観察会、収穫祭等を行い自然環境に配慮した市民農園を運営してまいりました。

今年度の市民農園の結果については次のとおりです。

水田ファミリー型	水田オーナー型
89区画	14区画
公募による一般市民及び賛同者 (1区画当り 30㎡)	NPOちば支援センター 自然保護団体関係者等 (1区画当り 150㎡)
89名	241名
合計	330名

(3) 農業体験学習等協力

1) 地元小学校米作り農業体験学習協力

米作り農業体験学習として、福田第一小学校児童（５・６年生）３３名、福田第二小学校児童（５年生）１３名、合計で４６名を対象に田植え・生育調査・稲刈りを体験学習として実施いたしました。

2) 地元中学校スペシャルスタディー協力

福田中学校２年生が１年間を通し、江川地区をフィールドに理科の体験学習として行っているスペシャルスタディーに協力をいたしました。

2 船形地区の農業事業

(1) 農業生産調整事業

平成３０年産麦の集団転作事業に基づくブロックローテーション（ブロック３）及び固定団地併せて約６６．５ｈａの水田を船形互助転作組合との協議により借地いたしました。また、借地期間は１年とし、毎年１０月１日から翌年９月３０日まで借用しますが、大豆を作付けする水田については更に翌年２月頃まで借用します。なお、遊休農地（畑）３．７ｈａにも大麦を作付けしました。

(2) 農業生産

1) 麦栽培

平成２９年産麦については、大麦は約１０ｈａに、小麦は約５５．８ｈａにそれぞれ播種し、平成２９年５月から６月にかけて刈り取り作業を行いました。収穫の状況については次のとおりです。

区分		ＪＡ出荷	種子更新	ク　ズ	総収量
品　種	作付面積				
大麦(カシムギ)	約 10ha	1 等 22 t 2 等 11.15 t	0 t	1.6 t	34.75 t
小麦(さとのそら)	約 55.8ha	1 等 182 t 2 等 65.93 t	0 t	6.0 t	253.93 t
合　計	約 65.8ha	281.08 t	0 t	7.6 t	288.68 t

ア ブロックローテーション面積

ブロック１ 約５４．６ｈａ

ブロック２ 約５５．８ｈａ

ブロック３ 約６９．４ｈａ

イ 固定団地面積

船形富士の下 約５．２ｈａ

2) 大豆栽培

今年度の大豆については、タチナガハを１４．３ｈａに、フクユタカを１１．９ｈａに、サチユタカを１２．２ｈａにそれぞれ播種しました。

その後、雑草抑制のため除草剤の散布や殺菌剤の散布、アブラムシ、ダニ類、コガネムシ、カメムシが異常発生したための防除等、生育状況に合わせた管理を行いました。

フクユタカについては、その後べと病が発生したことから治療のため通常散布以外に9月8日から13日までリドミルを散布致しました。

更に、台風9号による影響でタチナガハの圃場は若干の冠水が有り、フクユタカについては一部の大豆が倒伏致しました。

収穫作業については、タチナガハは12月4日から12月16日、サチユタカは12月12日から12月19日、フクユタカは12月20日から12月27日に収穫を行いました。

収穫の状況については次のとおりです。

単位：k g

区 分		販 売		種子更新	ク ズ	総収量
品 種	作付面積	J A出荷	小 売			
タチナガハ	14.3ha	2等 23,550 3等 210	930	0	3,600	28,290
フクユタカ	11.9ha	3等 17,700	1,200	0	2,450	21,350
サチユタカ	12.2ha	3等 13,260	0	0	2,500	15,760
合 計	38.4ha	54,720	2,130	0	8,550	65,400

3 農業関係施設の運営事業

(1) 野田市堆肥センター運營業務委託事業

廃棄物の発生抑制、再利用を促進するため、剪定枝、刈草、落葉を活用して良質な堆肥を生産し、化学肥料の減量等による環境保全型農業を推進することにより、付加価値のある持続性の高い農業を展開するための施設の運営管理を行ってまいりました。

また、もみ殻牛ふん堆肥や剪定枝等堆肥の運搬散布を行い、市独自の有機堆肥を使って生産した農産物のブランド化を推進するため適切な施設管理を行ってまいりました。

更に、新たな取り組みとして、野田市畜産クラスター推進協議会からの依頼により、8月から12月には飼料用米の粳米を粉碎し、SGS（ソフトグレインサイレージ）の加工及び酪農家への運搬を実施いたしました。

搬入量

- ・剪定枝・刈草・落葉搬入量・・・約4,798トン
- ・もみ殻回収量・・・・・・・・・・約763トン

搬出・運搬量

- ・剪定枝等堆肥の搬出量・・・・・・・・約2,012トン
- ・もみ殻牛ふん堆肥の運搬量・・・約1,287トン

飼料用米粉砕加工（SGS）

- ・一般米（加工量）・・・・・・・・・・約125トン
- ・専用品（加工量）・・・・・・・・・・約81トン

(2) 東葛飾地域農林業センター施設管理業務委託事業

農林業センターの目的は、地域農林振興を図り、農林業者の研修、後継者の育成並びに交歓、相談等地域農林業の向上と自主性を図るとともに、農林業諸施策を円滑に推進することから、目的達成のため施設の管理を行ってまいりました。

4 その他の受託事業

(1) 小船橋水辺公園管理業務

小船橋水辺公園管理業務については、市民の憩いの場としてレクリエーションや休憩など気軽に利用できる施設管理を行ってまいりました。

園内の管理	受託面積 約1.3ヘクタール
除草・芝刈	芝生の刈取りと雑草の除草作業を年2回実施
高木の剪定	枝の剪定と整枝、片付け作業を年1回実施
園内の清掃	駐車場、トイレ、園路の清掃を週1回実施
公園の巡回	いたずら防止等園内の巡回を週1回実施

(2) 江川地区自然環境維持管理作業

江川地区の自然環境調査、自然に配慮した農園の維持管理作業、自然環境を考慮した米づくりの実施等について、野田市の策定する「自然環境保護対策基本計画」に基づき維持管理を行いました。

(3) はきだし沼及び周辺の休耕地草刈業務

船形耕地のはきだし沼及びその周辺に生息する希少生物の生育環境整備のため除草作業を実施しました。

(4) 関宿落堀ビオトープ管理業務

関宿落堀ビオトープの除草作業3回及び月1回の見回りとゴミ拾いを実施しました。

5 コウノトリ飼育及び飼育施設管理業務委託事業

平成29年4月1日から平成30年3月31日までコウノトリ飼育等業務を受託し、国の特別天然記念物コウノトリの飼育管理を行うとともに、産卵、孵化、育雛等飼育員の知識や技術向上のための各種研修に参加しました。また、飼育施設の管理、視察や見学者の対応などを行いました。

特に、埼玉県こども動物自然公園から譲り受けた有精卵から孵化した雛3羽のうち、1話を巣立ちさせ、6月17日に試験放鳥が野田市こうのとりの里で行われました。放鳥式典の中で、放鳥する雛の命名式が行われ、「ヤマト」と命名されました。

今回の放鳥は、昨年同様ソフトリリースで、放鳥した1羽を育てたコウくんとかうちゃんがいるケージの屋根を開放し、雛は自然に飛んでいき、ケージに戻ってくることもできる方式でした。

式典の後にケージを飛び立ち、「ヤマト」は12月までの約半年間江川地区に滞在しました。江川地区を離れ飛び去った後に、「ヤマト」は千葉県と茨城県で冬を越し、平成27年に放鳥した「未来」と出会い、一緒に生活する姿が目撃されました。

また、平成28年に放鳥した「ひかる」は平成30年3月29日に江川地区に戻り、ドジョウやザリガニを食べる姿が確認されています。

今年は、昨年より遅い平成30年2月10日に1卵目の産卵を確認いたしましたが、コウ君が卵を投げ捨て破卵してしまいました。その後、12日に産卵した卵も投げ捨てたことから、15日以降に産卵した卵は偽卵と交換し、採取した卵は孵卵機を使って発育を行いました。偽卵は巣に括り付けて卵を抱く癖をつけさせ、3月12日に発育した卵と交換を行い、3月24日から26日にかけて3羽の雛が孵化し、順調に育っています。

なお、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの、コウノトリ観察棟入場者は6,457名（来館名簿記入者）でした。

6 就農支援事業

市と協働で新規就農希望者に対して事業を実施しました。生産は、枝豆、ホウレンソウ、キャベツ、白菜、モロヘイヤ、春菊、人参を栽培し総収量27,366kgを大田市場へ出荷しました。

また、枝豆、人参は5月中旬出荷を目標に播種しました。

- ・新規就農者の雇用4名
- ・遊休農地の解消約110アール

7 補助金関係等

- (1) 畑作物の直接支払交付金における面積払の交付金
麦及び大豆の栽培面積に対する交付金
- (2) 米の直接支払交付金
江川地区の米の作付面積に対する交付金
- (3) 水田活用の直接支払交付金
船形地区の互助転作の麦及び大豆の作付面積に対する交付金
- (4) 畑作物の直接支払交付金における数量払
麦の生産量と品質区分ごとに設定した単価による交付金
- (5) 大規模ブロックローテーション促進事業補助金
麦作面積に対する補助金
- (6) 転作定着化促進事業補助金
野田市農業再生協議会からの補助金
- (7) 集団転作推進対策事業補助金
江川地区の保全管理に対する補助金
- (8) 病虫害防除薬剤購入費用補助金及び地上防除奨励金
麦及び大豆用薬剤購入費用と防除奨励金
- (9) 野田市新規就農支援事業補助金
市と協働で就農支援事業を実施する事業者に対する補助金
- (10) 野田市環境保全型直接支払交付金
冬期湛水管理

8 ホームページについて

事業のPRをするため、適時更新を行いました。

9 農業用機械稼働状況（平成29年4月から平成30年3月まで。自動車は除く。）

機種	積算時間	稼働時間	主な作業内容
トラクターE G 4 4 1	3, 251	496	耕運・播種作業等
トラクターE G 4 4 5	3, 771	554	耕運・播種作業等
トラクターA F 6 5 0	325	42	耕運・播種作業等
トラクターE G 4 5 3	1, 024	447	耕運・播種作業等
コンバインG C 9 8 0	1, 485	169	収穫作業
コンバインA G 1 1 0 0	701	124	収穫作業
ブームスプレイヤー 丸山	1, 193	253	薬剤散布作業
トラクターC T 2 6 1	236	231	耕運作業等
トラクターF 2 2 5	611	240	耕運作業等
コンバイン2条G C 2 2 1	545	125	収穫作業
トラクターE G 4 4 1	566	—	耕運・播種作業等
田植機V P 1－P W 1	約 20 時間		稲の植え付け作業
田植機V P 1－P W 2	約 10 時間		
田植機V P 1－A	約 20 時間		

10 取締役及び他の役員（第13期 平成29年度）

区 分	氏 名	備 考
代 表 取 締 役	鈴木 有	野田市長
常 務 取 締 役	木全 敏夫	
取 締 役	吉川 宏治	野田市建設局長
取 締 役	町田 藤夫	野田市自然経済推進部長
取 締 役	瀬能 建市	平成29年11月30日辞任
取 締 役	伊藤 敏弘	
取 締 役	佐賀 悦男	平成29年9月30日辞任
取 締 役	菅澤 治	
会 計 参 与	秋葉 芳秀	税理士
監 査 役	濱田 宏志	税理士

11 株式の状況（平成30年3月31日現在）

（1）株主数…………… 5名

（2）株主

株主名	持株数	持株比率
千葉県野田市	6,206株	99.9195%
伊藤敏弘	1株	0.0161%
木全敏夫	2株	0.0322%
佐賀悦男	1株	0.0161%
菅澤治	1株	0.0161%

12 経過概要

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの主な経過概要

月 日	曜 日	主 な 経 過 概 要
4 月 24 日	月	麦防除開始
4 月 29 日	土	市民農園 田植え
5 月 22 日	月	定時取締役会（第 1 2 期事業報告及び決算報告書の承認の件、定時株主総会の招集の件）
5 月 25 日	木	定時株主総会（第 1 2 期事業報告及び決算報告書の承認の件、役員報酬の決定の件）
5 月 31 日	水	コウノトリ一斉捕獲
6 月 5 日	月	大麦刈取終了 総収穫量 34.75t
6 月 11 日	日	市民農園 第 1 回目草取り
6 月 17 日	土	コウノトリ試験放鳥 「ヤマト」
6 月 26 日	月	小麦刈取終了 総収穫量 253.93t
6 月 30 日～7 月 1 日	金・土	コウノトリ足環装着研修 豊岡市 飼育員 2 名 6 月 30 日から 2 日間
7 月 2 日	日	市民農園 第 2 回目 草取り
7 月 8 日～9 日	土・日	第 4 回コウノトリ市民交流会 越前市 1 名参加
7 月 12 日	水	コウノトリ公開ケージ天井閉鎖
8 月 5 日	土	市民農園 ホタル観察会
8 月 10 日	木	臨時取締役会（懲戒解雇及び解雇予告除外認定申請書提出の件）
8 月 17 日	木	粳米 S G S 加工開始
8 月 24 日	木	定時取締役会（利益相反取引の件、第 1 3 期第 1 四半期事業報告の件、トラクター等購入に係る融資の件）
8 月 27 日	日	市民農園 稲刈り
9 月 8 日	金	農業体験学習 福田第一・第二小学校 稲刈り
10 月 1 日	日	市民農園 収穫祭
10 月 11 日～13 日	水～金	南部中学校職場体験学習（江川事業所） 2 年生 2 名
10 月 24 日	火	船形水辺広域協定 薩摩芋収穫協力
10 月 25 日	水	野田市畜産クラスター推進協議会 現地検討会
11 月 21 日	火	定時取締役会（取締役の辞任の件、第 13 期第 2 四半期事業報告の件、第 13 期上半期経営状況報告の件、平成 30 年度市民農園募集の件、追加議案 取締役の辞任の件、株式の譲渡承認の件。）
11 月 27 日～29 日	月～水	飼育員現場研修 多摩動物公園 2 回（各 1 名）
12 月 13 日	水	飼育コウノトリ一斉捕獲
1 月 25 日	木	コウノトリ野生復帰手引書編集委員会 井の頭自然文化園 1 名参加
2 月 4 日	日	コウノトリ野生復帰セミナー 大阪天王寺動物園 2 名参加
2 月 8 日	木	J A ちば東葛大規模営農組織協議会 野田地区経済センター
2 月 9 日	金	コウノトリ野生復帰手引書編集委員会 井の頭自然文化園 1 名参加
2 月 16 日～18 日	金～日	第 3 回 にじゅうまるプロジェクトパートナーズ会合 展示参加
2 月 19 日	月	コウノトリ野生復帰手引書編集委員会 井の頭自然文化園 1 名
3 月 27 日	火	定時取締役会（第 13 期第 3 四半期事業報告の件、利益相反取引の件、取締役辞任の件、第 1 4 期事業計画及び予算承認の件、就業規則一部改訂の件、パートタイマー等就業規則の一部改訂の件、取締役候補者の選定の件、株式の譲渡承認請求の件、平成 30 年度利益相反取引の件、臨時株主総会招集の件。） 臨時株主総会（取締役 1 名選任の件。）
3 月 29 日	木	平成 27 年放鳥コウノトリ「ひかる」、江川地区に飛来。

第 1 3 期

決 算 報 告 書

平成 2 9 年 4 月 1 日 から

平成 3 0 年 3 月 3 1 日 まで

株 式 会 社 野 田 自 然 共 生 フ ァ ー ム

貸借対照表

商号 株式会社 野田自然共生ファーム

代表者 鈴木 有

平成30年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
I 流 動 資 産	(113,250,110)	I 流 動 負 債	(39,198,812)
現 金 及 び 預 金	81,807,395	未 払 金	16,851,496
売 掛 金	67,156	未 払 費 用	3,049,844
た な 卸 資 産	18,470,287	未 払 法 人 税 等	932,500
未 収 入 金	12,373,327	未 払 消 費 税	964,500
立 替 金	96,024	前 受 金	14,161,621
経 営 安 定 積 立 金	464,921	仮 受 金	702,042
貸 倒 引 当 金	△ 29,000	源 泉 税 等 預 り 金	249,809
		賞 与 引 当 金	2,287,000
II 固 定 資 産	(244,832,149)	II 固 定 負 債	(17,685,332)
有 形 固 定 資 産	(244,713,109)	長 期 借 入 金	14,133,332
建 築 物	24,992,711	退 職 給 付 引 当 金	3,552,000
機 械 及 び 装 置	4,323,113		
車 両 運 搬 具	29,361,755		
工 具、器 具 及 び 備 品	363,027		
建 物 附 属 設 備	3,207,992		
土 地	7,335,642		
一 括 償 却 資 産	174,908,745		
	220,124		
無 形 固 定 資 産	(50,000)		
保 証	50,000		
投資その他の資産	(69,040)	負 債 の 部 合 計	56,884,144
出 資 金	10,000	(純 資 産 の 部)	
敷 金・入 会 金	10,000	I 株 主 資 本	(301,267,203)
長 期 前 払 費 用	49,040	1. 資 本 金	100,000,000
		2. 資 本 剰 余 金	(183,032,296)
		(1) 資 本 準 備 金	155,275,000
		(2) そ の 他 資 本 剰 余 金	(27,757,296)
		そ の 他 資 本 剰 余 金	27,757,296
		3. 利 益 剰 余 金	(18,234,907)
		(1) そ の 他 利 益 剰 余 金	(18,234,907)
		繰 越 利 益 剰 余 金	18,234,907
		II 評 価・換 算 差 額 等	(0)
III 繰 延 資 産	(69,088)		
水 道 加 入 金	69,088	III 新 株 予 約 権	(0)
資 産 の 部 合 計	358,151,347	純 資 産 の 部 合 計	301,267,203
		負 債・純 資 産 の 部 合 計	358,151,347

損 益 計 算 書

商号 株式会社 野田自然共生ファーム

平成 29 年 4 月 1 日から

平成 30 年 3 月 31 日まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 売 上 高			
農 産 物 売 上 高	15,053,936		
業 務 受 託 収 入	98,306,181		
市 民 農 園 収 入 等	800,949		
作 付 助 成 金 ・ 交 付 金 収 入	88,343,310	202,504,376	202,504,376
II 売 上 原 価			
期 首 た な 卸 高		0	
当 期 農 業 原 価		187,850,814	
合 計		187,850,814	
期 末 た な 卸 高		0	187,850,814
売 上 総 利 益			14,653,562
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費			
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		32,657,182	32,657,182
営 業 損 失			18,003,620
IV 営 業 外 収 益			
受 取 利 息		3,428	
一 般 補 助 金 収 入		8,146,548	
受 取 配 当 金 入		75	
雑 収		16,055,838	24,205,889
V 営 業 外 費 用			
支 払 利 息		76,073	
繰 延 資 産 償 却		17,638	93,711
経 常 利 益			6,108,558
VI 特 別 利 益			
固 定 資 産 売 却 益		462,961	462,961
VII 特 別 損 失			
固 定 資 産 売 却 除 却 損		11,301	
特 別 償 却 費		666,666	
前 期 損 益 修 正 損		3,624,104	4,302,071
税 引 前 当 期 純 利 益			2,269,448
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税		933,028	933,028
当 期 純 利 益			1,336,420

販売費及び一般管理費の計算内訳

平成 29 年 4 月 1 日 から
平成 30 年 3 月 31 日 まで

(単位:円)

科 目	金 額
広告宣伝費	69,100
発送配達費	307,059
販売手数料	618,802
イベント費用	160,024
役員報酬	6,719,880
事務員給与	12,160,507
従業員賞与	1,874,000
法定福利費	2,644,215
厚生費	136,985
退職金	240,000
減価償却費	8,377
賃借料・リース料	1,036,820
事務用品費	1,006,581
通信費	1,230,297
水道光熱費	327,807
租税公課	288,630
寄付金	44,200
接待交際費	23,600
保険料	60,690
備品消耗品費	1,810,057
管理諸費	1,349,067
一般車両関係費	4,518
図書費・研修費	880
交通費	287,583
貸倒償却費	1,000
雑費	246,503
合 計	32,657,182

たな卸資産の計算内訳

平成 30 年 3 月 31 日 現在

(単位:円)

科 目	金 額
農産物	59,133
原材料	148,202
未収穫農産物	11,510,257
貯蔵品	6,752,695
合 計	18,470,287

農 業 原 価 報 告 書

平成 29 年 4 月 1 日 から
平成 30 年 3 月 31 日 まで

(単位:円)

科 目	金 額
I 材 料 費	
期首材料たな卸高	18,300
種 苗 費	913,188
合 計	931,488
期末材料たな卸高	148,202
当期材料費	783,286
II 労 務 費	
賃 金	67,329,990
賞 与	8,951,000
退 職 金	312,000
法定福利費	11,811,643
厚生費	1,810,388
当期労務費	90,215,021
III 経 費	
肥料費・農薬衛生費	12,057,278
外注作業費	1,122,787
電 力 費	2,840,704
軽灯油等燃料費	10,723,722
運 賃	333,793
減価償却費	16,989,774
修繕費	8,500,510
租税公課・負担金	1,083,400
賃借料・リース料	20,709,152
共済掛金・保険料	2,147,639
諸 資 材 費	12,083,359
農 具 費	859,843
交 通 費	1,623,888
図書費・研修費	420,096
車両関係費	1,714,012
土地改良費・水利費	2,089,050
雑 費	804,838
当期経費	96,103,845
当期総農業費用	187,102,152
期首農産物等棚卸高	12,318,052
合 計	199,420,204
期末農産物等棚卸高	11,569,390
当期農業原価	187,850,814

(監査報告書の写し)

監査報告書

株式会社野田自然共生ファームの第13期(自平成29年4月1日
至平成30年3月31日)貸借対照表、損益計算書及び附属明細書
について監査した結果、いずれも会社法の規定に準拠し、適正に処
理されていると認めます。

平成³⁰年5月14日

株式会社野田自然共生ファーム

監査役 濱田 宏志  (印)

第14期 事業計画

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

江川地区において、自然と共生する環境保全型農業を推進するため、引き続き減農薬による水稻の生産を行うとともに、水田型市民農園及び自然環境維持管理業務など、更に自然と共生する農業を推進してまいります。

船形地区におきましては、麦及び大豆の生産・販売、小船橋水辺公園の管理業務等を行ってまいります。

また、就農支援事業につきましても人参、枝豆、ホウレンソウを中心とした野菜の生産・販売の実務研修を行ってまいります。

さらに、野田市からの委託事業として、コウノトリ飼育及び施設管理業務、東葛飾地域農林業センターの管理業務、農業関係施設の管理業務を行ってまいります。

なお、農業経営については、引き続き効率的経営に努め、安定経営を目指してまいります。

1 江川地区の農業事業

近年圃場の含水率が高く、冬場でも水が抜けないなど、水稻作付けが困難な圃場が出てきておりますので、当面は冬期湛水場所の交換などの対策を行いながら圃場の再整備を図り、収穫量増を目指してまいります。

(1) 圃場整備作業

水稻生産予定区域において圃場整備作業を実施する。

- 1) 作業内容 ①除草作業
- ②水路の整備作業
- ③均平・整地作業
- ④畦畔整備作業

(2) 水稻生産

- 1) 生産目標面積 約 5.2ヘクタール（市民農園圃場含む）
- 2) 目標収穫量 約 9トン

(3) 市民農園の実施

面積 約 2.1ヘクタール

募集内容 ファミリー型 500区画 オーナー型 40区画

(4) エコロジカルネットワークへの取組み

- コウノトリ野生復帰計画への全面的協力
- 水路整備（魚道整備含む）
- 里地里山の保全

(5) ビオトープ保全管理

当社所有農地で、耕作をしていない約25ヘクタールの農地及びその周辺の民地で耕作をしていない農地、あわせて約47ヘクタールにおいてビオトープ保全管理のための除草を行ってまいります。

2 船形地区の農業事業

(1) 麦及び大豆の生産

米の生産調整のための事業であり、水田における麦及び大豆の生産については、船形地区の水田を船形互助転作組合から借地して行うもので、千葉県東葛飾農業事務所の技術指導を受けて、栽培基準に基づき作業管理を行うとともに、従業員の研修を通し、栽培技術のレベルアップと平準化を図り、品質及び収穫量の向上に努めてまいります。

適期作業の励行	気象条件と作業適期の検討	随時
土壌検査	地力、施肥量の把握	年1回
研修会	社内外研修会	年4回程度
販路の拡大	販売店舗の拡大・ネットワークの活用	
平成30年産麦生産目標 (平成30年6月収穫予定)	作付面積 77.3ヘクタール 大麦(カシマムギ) 10.8ヘクタール 小麦(さとのそら) 66.5ヘクタール 目標収穫量 228トン 大麦 28トン 小麦 200トン	
平成31年産麦生産目標 (平成30年11月播種予定)	作付面積 64ヘクタール 大麦(カシマムギ) 10ヘクタール 小麦(さとのそら) 54ヘクタール	
平成30年産大豆生産目標 (平成30年12月収穫予定)	作付面積 30ヘクタール タチナガハ 10ヘクタール フクユタカ 10ヘクタール サチユタカ 10ヘクタール 目標収穫量 45トン タチナガハ 15トン フクユタカ 15トン サチユタカ 15トン	

3 農業関係施設の運営業務

1) 野田市堆肥センター運営業務

廃棄物の発生抑制、再利用を促進し、剪定枝、刈草、落葉を活用して良質な堆肥を生産し、化学肥料の減量等による環境保全型農業を推進することにより、付加価値のある持続性の高い農業を展開するための施設の運営管理、もみ殻と牛ふんを使った有機肥料の生産と運搬散布、また、稲わら牛ふん堆肥の運搬散布を行い、市独自の有機肥料を使って生産した農作物のブランド化を推進するため適切な施設管理を行ってまいります。

さらに、野田市畜産クラスター推進協議会が実施する、麦SGS（ソフトグレインサイレージ）加工作業の協力も含め、平成30年度も継続してこれらの事業を受託しようとするものです。

2) 東葛飾地域農林業センター施設管理業務

地域の農林振興を図るため、農林業者の研修、後継者の育成並びに交歓、相談等地域農林業の向上と自主性を図るとともに、農林業諸施策を円滑に推進するため適切な施設管理を行ってまいりました。平成30年度も継続して受託しようとするものです。

4 その他の受託事業

(1) 小船橋水辺公園管理業務

市民の憩いの場として気軽に利用できる施設管理を下記のとおり行ってまいりました。平成30年度も継続して管理を受託しようとするものです。

園 内 の 管 理		
除草・芝刈	雑草の除草作業と芝生の刈取り	年2回
高木の剪定	枝の剪定と整枝作業	年1回
園内の清掃	駐車場、トイレ、園路の清掃	週1回
公園の巡回	いたずら防止等園内の巡回	週1回

(2) 自然環境維持管理業務

江川地区の自然環境調査、自然観察会における指導、自然に配慮した農園の維持管理作業、自然環境を考慮した米作りの実施、及び補完作業を行ってまいりました。平成30年度も野田市が策定している「自然環境保護対策基本計画」に基づき受託しようとするものです。

(3) 休耕地草刈業務

希少生物の保護を目的として船形はきだし沼周辺の休耕地の草刈等について、平成30年度も継続して受託しようとするものです。

(4) 関宿落堀ビオトープ管理業務

平成27年度から受託しており、年3回の草刈及び月1回の見回り等の管理を行っておりますが、平成30年度も継続して受託しようとするものです。

5 コウノトリ飼育事業

野田市において平成24年12月4日から飼育を開始した国の特別天然記念物コウノトリについて、毎年幼鳥が孵化し、3年連続で試験放鳥するなど順調に飼育管理をしてまいりました。

平成30年度も継続してコウノトリ飼育事業を受託しようとするものです。

6 就農支援事業

人参、枝豆、ほうれん草を中心とした栽培を計画しております。

作付けする面積については、約2.3ヘクタールを借地しておりますが、栽培の状況に応じて更に面積を拡大しようとするもので、売上は年間700万円を目標としております。

また、野田市農産物ブランド化推進協議会からの開設依頼により、平成30年度は枝豆オーナー制度に係わる農園を新規に開設しようとするものです。

第14期 予算

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日 単位:千円

収入				支出					
項目		予算額			項目		予算額		
		第13期	第14期	比較			第13期	第14期	比較
1 農業生産売上		45,358	47,757	2,399	1 農業製造原価	187,096	193,134	6,038	
(1) 水稲売上		2,000	2,000	0	(1) 材料費	324	324	0	
(2) 麦売上		2,800	2,800	0	(2) 労務費	38,336	40,305	1,969	
(3) 大豆売上		7,000	7,000	0	(3) 農業経費	45,716	43,707	-2,009	
(4) 市民農園売上		672	680	8	① 肥料費・農薬衛生費	7,581	7,581	0	
(5) 経営所得安定対策等(国)		32,886	35,277	2,391	② 電力費	908	908	0	
2 農業受託売上		111,017	117,378	6,361	③ 軽灯油等燃料費	2,350	2,350	0	
受託業務	① 小船橋水辺公園管理	1,448	1,448	0	④ 修繕費	3,893	3,893	0	
	② 自然環境維持管理業務	3,197	3,198	1	⑤ 賃借料・リース料	2,908	1,023	-1,886	
	③ 堆肥センター運營業務	87,728	93,940	6,212	⑥ 共済掛金・保険料	1,962	1,962	0	
	(堆肥センター)	49,505	50,651	1,146	⑦ 麦団地賃借料	19,900	19,900	0	
	(もみ殻施設)	38,223	43,290	5,067	⑧ 土地改良費・水利権	2,083	2,083	0	
	④ 農林業センター運營業務	2,140	2,141	1	⑨ その他	4,130	4,007	-123	
	⑤ 休耕地草刈	181	181	0	(4) 小船橋水辺公園	1,064	1,064	0	
	⑥ コウノトリ飼育等委託業務	15,087	15,234	147	(5) 自然環境維持	2,978	2,979	1	
	⑦ 冬期湛水水田管理委託	880	880	0	(6) 堆肥センター	83,860	89,798	5,938	
	⑧ 関宿落堀ピオトープ管理業務	356	356	0	(7) 休耕地草刈	181	181	0	
3 補助金収入		35,796	33,575	-2,221	(8) コウノトリ飼育等	14,296	14,435	139	
(1) 県補助金		6,207	6,207	0	(9) 関宿落堀ピオトープ	341	341	0	
(2) 市補助金		4,026	4,026	0	2 販売及び一般管理費	19,289	19,678	389	
(3) 就農支援事業		22,800	20,579	-2,221	(1) 農林業センター	2,141	2,141	0	
(4) 転作定着化促進事業		0	0	0	(2) 人件費等	13,059	13,515	456	
(5) 地上防除奨励金・薬剤購入補助金		2,763	2,763	0	(3) その他	4,089	4,021	-69	
		0							
4 雑収入		13,800	13,800	0					
補償料等		13,800	13,800	0					
小計		205,971	212,510	6,539	小計	206,385	212,812	6,427	
					3 就農支援事業費	22,800	20,579	-2,221	
5 資本金・資本準備金		34,991	30,225	-4,766	4 退職金積立金	552	668	116	
					5 機械購入費	10,688	8,139	-2,549	
					6 農地取得費	537	537	0	
					7 分割返済・金利支払		0	0	
小計		34,991	30,225	-4,766	小計	34,577	29,923	-4,654	
合計		240,962	242,735	1,773	合計	240,962	242,735	1,773	